

今注目の楽譜 & 音楽書籍

全音ピアノ連弾レパートリー

全音楽譜出版社

魅力的な連弾レパートリーをラインナップしてゆく、新しいシリーズの登場です。個性あふれる作曲家たちによる様々な作品が、連弾によりさらに輝き、新しい世界を生み出します！
プリモとセコンドが同程度のレベルなので、コンサートや発表会にも最適な連弾シリーズです。



平吉毅州: カニバルがやってきた

1,760円 (税込)
みんなが弾きたくなる優しくてウキウキする平吉毅州のピアノ小曲集!



春畑セロリ: アストロ・ノーツ ~宇宙からの手紙~

1,870円 (税込)
幻想的で想像力が広がる連弾作品。



轟千尋: コンソナンス

1,870円 (税込)
“コンソナンス=調和”をテーマに春夏秋冬を描いた連弾作品。



水野修孝: ミューズの時

1,980円 (税込)
リズムカルで洒落な連弾組曲。



間宮芳生: 地球のともだち

1,650円 (税込)
いろいろな色彩に変化する6つの楽しい連弾組曲。

Piano Lesson 88 編集部

楽器・楽譜の総合卸商社 **株式会社 プリマ楽器**

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8 Tel.03-3866-2221(担当:徳沼)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちらから

プリマ楽器

検索

<https://www.prima-gakki.co.jp/news88/>



作曲家のキモチ



File.8 編曲という仕事

先日、プロフィギュアスケーター・浅田真央さんのアイスショーで、音楽アレンジを担当させていただきました。1度目は今年3月。演奏は世界的ヴァイオリニスト・三浦文彰さんと名ピアニスト・辻井伸行さんで、曲は長年浅田さんが演技をされてきた《愛の夢》。会場の広さや音の反響、スケーターさんたちが氷を削る音、足元も鍵盤もうんと冷たく、氷上の湿度で楽譜はよれよれに…! あらゆることが音楽ホールとあまりに違い、演奏家にとってはより集中が必要な現場だったと思います。2度目7月のツアー千秋楽特別公演では、文彰さんの伴奏を妹・舞夏さんに演奏いただきました。真央さんたちの演技と、生演奏の素晴らしいコラボレーションに多くのお客さまが涙され、素晴らしい公演の一端を担うことができ、とても光栄でした。

ひとえに「編曲」と言っても、その目的はいろいろあります。原曲をよりおしゃべりにしたり、作曲と言ってもいいほど自由に創作したり、楽器編成にあわせて書きかえたり、音楽の質を下げず難易度だけを下げたり……。今回の編曲の目的は、「真央さんがこれまで滑ってきた印象はそのまま保ちながら、その上で演奏家のお二人の音楽性を引き立たせ、スケーターさんたちが短時間の準備で自然に滑ることができて、美しい構成の音楽に仕上げる」こと。1回目と2回目の公演ではピアニストが変わったので、同じ楽曲でしたが全一から書きかえることにしました。一人奏者が変われば、欲しい音も変わってくる、その自分自身の衝動が、とてもおもしろく感じました。たかが編曲、されど編曲。編曲の目的を見極めることの大切さ、おもしろさ、むずかしさ、そして奥深さを改めて感じたお仕事でした。

●愛の夢 第3番 リスト
全音ピアノピース26



●よくわかるアレンジの教科書
秋山公良著
ヤマハミュージック



轟 千尋 プロフィール

作曲家。東京藝術大学卒、同大学院修了。日本フィル、九州交響楽団等のプロオーケストラなど数々の一流演奏家に作品を演奏されている。出版物多数。



第243号

小さい子の「ピアノ弾きたい」気持ちを満足させる究極の「ピアノ遊び」

たのしいけんぼんあそび

サーベル社

遠藤蓉子著

本のみ 1,408円 (税込)

CD付き 2,068円 (税込)

ピアノであそぼ! 1 ピアノであそぼ! 2



「ピアノであそぼ!」は、小さい子がドレミの音符に入る前に、「遊び」として楽しくピアノに触れる教材です。テレビで「えいごであそぼ」「にほんごであそぼ」という番組をやっている、遊びの中で知識を伝える独特のやり方にとっても感心していました。

私の中で「ピアノであそぼ」を作りたいという思いが芽生えたのはかなり昔ですが、具体的な方法がわからないまま長い年月が経ちました。今回まとめることができたのは、一人の小さい生徒さんがきっかけです。

とても小さい時からレッスンしていて、リトミックからやっと「よくわかる幼児のピアノ」という絵音符のテキストに入ったのですが、やってみると音符は読めるけれど指がわからないという困難に直面したのです。そんなことは初めてでした。やればやるほどレッスンが険しくなったのできっぱりあきらめて、とにかくドレミとは関係なく指のコントロールを教えることにしました。いろいろ考えてやっているうちにお互いにとっても楽しくなって、想像以上の成果を得ることができました。

そこから生まれた「ピアノであそぼ!」は本当に楽しい教材で、先生やお母さんと一緒に音楽に合わせてピアノ

を弾くというやり方で、指のコントロールやリズム感を養います。ドレミにこだわらず、ピアノの音そのものを楽しむ目的で、高い音や低い音、黒鍵や和音など様々な形でピアノに触れて遊びます。各レッスンは、左ページが歌とそれに合わせたピアノ遊び、右ページが「わくわくゲーム」となっており、巻末の切り抜きシールや迷路などで遊びます。

CDつきとCDなしがあり、CDがあれば小さい子の手を持って弾くことができ便利です。具体的な手順のために YouTube の参考動画も用意されています。幅広い年齢で使うことができ、グランドピアノでもできるし、キーボードやトイピアノでもできる内容です。「遊び」ですから、鍵盤の位置や指も決めていません。年齢や理解度に合わせて柔軟に対応してください。

これまでは小さい子のレッスンはリトミックを中心に進めてきましたが、「ピアノであそぼ!」は、小さい子が持っている「ピアノを弾きたい」という強い気持ちを十分に満たしてくれる新しいスタイルのレッスンです。初めてピアノに出会うときのわくわくした気持ちを大切にしながら、正しい方向へと導いていきます。ぜひいろいろな形でレッスンに取り入れてください。

遠藤蓉子 プロフィール

ピアノ教育研究家、テキスト製作者。
1才から年配の方まで、小さい子向けから上級者向けまで、さまざまなテキストを多年にわたって多数執筆。
ピアノのテキストのみならず、音感トレーニングやリトミック、指導書やエッセイ、CDまでその研究は多岐にわたる。

遠藤蓉子ホームページ
<http://yoppi.g.dgdg.jp>



[YouTube]
よっぴーのお部屋 レッソンの扉



フンメル博士からの助言

[シリーズ2] ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第46回

読者の皆様こんにちは！毎日の練習やレッスンはいかがでしょうか？

今月もヴィルトオーゾ・ピアニストの偉大さ、凄さや神業についてお話しさせていただきます。是非「ピアノを弾く」ことにお役立て下さい。 岳本恭

■前号の「リサイタル」の続きです。

リストが「リサイタル」として始めた演奏会は、現代の「リサイタル」の形態とは全く違っていました。リストはまず最初に1・2曲弾くと、ステージから客席に降りて、十分余裕をもって配置してある客席の間を王子のように、愛想よく、エレガントに歩き回り、聴衆と会話を交わしました。そして会話が一段落するとまたステージに上がり、ピアノに戻り再び演奏を始めました。その間お客達は、リストが演奏しているにも関わらず、おしゃべりを続け、煙草をふかし、食事をし、会場を出たり入ったりしていました。

聴衆がこんなにだらけてしまうのには理由があります。それは、当時の演奏時間の長さです。

現代の標準のリサイタルは前半が約45分、休憩が約15分、そして後半が45分です。午後7時から開始して、アンコールを含めても午後9時には終了します。ところが当時のロンドンフィルハーモニーのコンサートの例では、交響曲2曲、序曲2曲、器楽曲（ピアノのソロ等）の大きな作品を2曲、歌曲を4曲も演奏しました。現代のリサイタルの形態になるのは、1860年代です。ちなみにこの頃日本では江戸時代が終わり、明治元年は1868年になります。

■1860年代のピアノのレパートリー

- ①国家を変奏曲にする。
- ②感傷的なタイトルの曲（乙女の祈り・愛の喜び・羊飼いの娘の夢・私を死ぬために帰らせて下さい・青ざめた乙女が待っている・夕焼けに森は燃える・朽ちた水車小屋・修道院の鐘・ライオンの目覚め・我が心よ、お前に聞きたい、愛とは何か、言っておくれ…
- ③リストが大量に創作したオペラをテーマに

したパラフレーズ

④良く演奏された作曲家
フンメル、ヘルツ、モシエレス、カルクブレunnerや「ソナチネ」で知られているディアベリやクレメンティ

⑤あまり演奏されなかった作曲家

モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト

■大ピアニスト総出演のコンサート

この連載でおなじみの、リスト、ヘルツ、タールベルク、モシエレスらが数台のピアノを炎上させるように弾きまくり、当時流行したオペラを幻想曲風に演奏するのを、聴衆は固唾を呑んで見守りました。

さて紙面が尽きてしまいました。次号では引き続き当時の音楽事情をお知らせしたいと思います。乞うご期待！

【著書紹介】

リフレッシュ・ピアノ・メソッド
春秋社 岳本 恭治著



ピアノを習う人が思い違いしがちなこと、勘違いしがちなことを取り上げながら、ピアノへの正しい向き合い方や、本当に効果のある練習方法をわかりやすく解説。



岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業、ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得、演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ・脱力奏法ガイドブック vol.1～3」(サーベル社)、「江戸でピアノを」(未知谷社)、「リフレッシュ・ピアノ・メソッド」(春秋社)等多数。現在、国立音楽院指導講師、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。
岳本先生ホームページ: <http://hummel1778.com/>



岳本 恭治
(日本J.N.フンメル協会 会長)

ピアノレッスンの今後

♪♪ Music Key Lesson ♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

現在、年長さんのT君。年少で入会し、かれこれ2年以上が経ちます。

正直、年少の時は、レッスンしているとはとても言えない状態でした。幼稚園入園も重なり、環境の変化に心も体もついていくのがやっと…そんな中でスタートした、T君にとっては初めての“おけいこ”がピアノでした。

まずは楽しく音楽に触れながら教室に慣れる事を第一に、あの手この手で“音楽遊び”を続けました。

そんな時大きな助けとなったのが、『ケンとパン』『せんかんブラザーズ』『ドレミファソラド』『オリズムピック』『プチわかーるピアノ A』のテキストでした。毎回T君と「何からやりたい?じゃんけんに勝ったほうが決めよう!」勝ち負けがよく分かっていないT君でしたが、何となく楽しい雰囲気についてきました。集中できるのは、2~3分。1冊の本が飽きる一歩前で終え、「次はどの本やりたい?」と、次々にチェンジしていきます。それぞれの本は、教えたことがはっきりしていて、教師にとっても生徒の反応を細かくチェックできます。ルールも決めました。「じゃんけんに勝っても同じ本はだめよ~違う本の中から選んでね。」遊んだ本は、重ねていきます。そうすることでまだやっていない本がT君にも分かります。時には眠くてぐずったり、ご機嫌斜めでテーブルの下にもぐったままレッスンしたこともありました。

こんな感じで1年が過ぎ、2年目へ…。ルールも少しずつ増えてきました。できるだけ自分のことは自分でやる…毎回同席のお母様にもご理解頂き、「1人でレッスンを受ける」を提案。この頃には、すっかり教室にも慣れてきていたので、この作戦は大成功!本人もお兄さんになった気分。それぞれの本に取り組む時間も増やしていきました。最初は、ピアノもぐじゃぐじゃ弾きでしたが、『GO! フィンガーズ』で、本を見て弾くことを教えました。そんなT君も年長さんになり、幼稚園ではリーダーです。

時間は掛かりましたが、やっとレッスンしている…という感じになってきました。先日、「ねえ~発表会があるんだけど、出てみたい?」すると「出てあげてもいいよ~」「出てほしいなあ~」「分かったー。」そんなやりとりがあり、初めての発表会に出演決定『プチわ

かーるピアノ B』の中から、“T君がお気に入りの曲”+『わかーる曲集1』から“メリーさんのひつじ”を弾きます。ここまでの道のりは長かったと思いますが、じっと我慢してわが子の成長を待ち続け応援して下さったご両親には心から感謝です。そして教師にとっても、「ピアノのレッスンができるようになる!」…ここに持ってくるまでが、踏ん張り所であり、一番大変な時期ではないでしょうか。

この秋からスタートします「名古屋・三重」の2ヶ所での「ピアノ導入指導講座(シリーズ)」は、そんな先生方のお悩みやご苦労にお応えできたらと企画いたしました。多くの皆様との出会いを楽しみにしています。

♪ミュージックお問合せは

<http://www.musickey-piano.com/>



【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】

『練習しない生徒、弾けない生徒…ゼロを目指して!』『指導力UP』のために必見です!

★名古屋会場: カワイ名古屋コンサートホール: ブレーンにて(録画受講可)

日時: 11/14(火) 10:00~12:00+ 講座では聞けない話(ランチ会) 自由参加・自由解散(各自ランチ持参)

★三重会場: 三浜文化会館3F 練習室C(録画受講可)

日時: 11/15(水) 10:00~12:00+ 講座では聞けない話(ランチ会) 自由参加・自由解散(各自ランチ持参)

上記の名古屋・三重会場では2024年1月から7回シリーズ講座が開催されます。(毎回奇数月)

『練習しない・やる気のない生徒へのレッスン方法…これなら音楽好きになる!』

会場: 表参道カワイ: パウゼにて 10:30~12:30

(録画受講可) (ランチ会: 自由参加)

11/22(水)《ソルフェージュの力を付けることが重要なカギ!》

1/24(水)《生徒が“分かった!できた!”を実感できることが“続く”秘訣》

3/13(水)《生徒のやる気・保護者の心をつかむ魔法の言葉》